



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、様々な活動に制限が出ています。これにより、現場は不安や悩みを抱えますが、同時に新たな創意工夫が生まれています。「つながる通信」では、そうしたコロナに負けない地域の繋がりやパワーを発信し、各地でお役立ていただく一助となれればと願っております。

強戸地区
「菅塩地区むらづくり推進協議会
桜の植え付け作業」

菅塩地区にある傾斜地農地を利用して、みかん、デコポン、桜の植え付けの管理を行っています。

農地は3万平米あり、**広大な敷地を地区の人たちで整備**をしています。



菅塩地区むらづくり推進協議会は、2000年頃から始まり、今年で23年目。菅塩地区にある傾斜地農地（耕作放棄地）を活用する事業として始めました。使用する重機や道具は全て持ち寄り。**農家や事業主が多い菅塩地区だからこそできます。**

メンバーは30～40名。年齢層は50代～80代で、70代が中心メンバーです。大規模な作業の時は土日に行うため、会社に勤めている若い人たちも出てきてくれます。親の代が高齢のため世代交代をし、息子さんが代わりに出席している方もいます。協議会の中でも上の世代の人たちは、専業農家や兼業農家で畑仕事や農作業をしている人が多く、知識や経験、専用の機械も持っています。若い世代は、体力や機動力があり、**お互いに補い合いながら作業**をされています。

コロナの前はこの会で旅行に行ったり、飲み会を開いたりしていました。**老人会がなくても地域の人が集まる場であり、地域貢献をすることで活躍の機会にもなっています。**

裏面へ続きます →

地域のお宝発見♥ ～太田市生活支援体制整備事業～

菅塩地区むらづくり推進協議会のメンバー



はとり かつたろう
羽鳥 勝太郎さん 77才

元区長で、協議会の会長をしています。
協議会のメンバーは、指示されなくてもテキパキと動き、重機の扱いや作業にも慣れている様子から「菅塩町全体が土木会社みたいなもの」と話しており、作業中メンバー同士が冗談を言いながら和気あいあいと作業をしている様子を「すごく良い雰囲気でしょ。」と笑いながら見守っていました。

くろさわ ただゆき
黒澤 忠幸さん 77才

協議会の副会長をしています。
規則正しい生活（6時起床、21時就寝）と農作業を続けることが元気の源。



はとり こういち
羽鳥 功一さん 71才

「この事業がみんなと顔を合わせる機会になっている。この事業がないと顔を合わせる機会がなくなるので、何をやっているかわからないからね。」

すとう まさとし
須藤 征俊さん 80才

専業農家で毎日田んぼと畑に行くのが元気の秘訣。
ショベルカーを持っており運転もされています。
知り合いに頼まれて田畑を耕しに行くこともあります。
大型の農業機械を操りお米と小麦を作っています。

すとう かずゆき
須藤 和幸さん 66才

菅塩町の区長をしています。「菅塩町は農村地域だからこそみんなが持っている道具を出しあったり、協力してこの事業が出来ている。」



菅塩地区の傾斜地農地には、竹が生い茂っています。竹は繁殖力が強く、根も深いため除去するのが大変です。協議会のみなさんが長い時間をかけて努力され、傾斜地農地をみかんやデコポン、さくらが育つ環境に変え、令和3年度には太田市景観賞の大賞にも選ばれました！

チェックポイント

- コロナ禍でも感染対策をとりながら定期的に作業を続けることで、お互いに顔を合わせる機会になっています。
- 道具や特技、技術を出し合い、世代ごとの特色を生かして事業を進めることで大規模な農地を管理することができ、人と交流するきっかけや地域貢献にもなっています。
- 老人会がなくても集まるきっかけになっています。



お宝情報を募集中！「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまで！



詳しくはこちら

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229